

NIE 活動を魅力ある授業づくりに生かす

兵庫県立湊川高等学校 校長 片岡 正光
教諭 橋本 政好

1 はじめに

本校は神戸市にある1学年2クラス、生徒数約150名の定時制高校である。昼間アルバイト等を行い家計を助けたり、中学校時代に不登校を経験したりした生徒が半数程度おり、基礎学力面で課題がある生徒も多い。新聞を取っていない家庭、主な情報源がインターネットとテレビという生徒が多数を占めている。

このように新聞にあまりなじみのない生徒が多数いる中、新聞を教育活動に用い、授業改善、授業力向上に生かし、学校全体で魅力ある授業づくりに取り組んでいる。

2 実践の内容

(1) 学校全体の取り組み

- ・ NIE コーナー（掲示板と新聞閲覧）設置と活動啓発
- ・ 新聞を活用した授業づくりと公開授業の実施
- ・ NIE 記者派遣事業の活用



① NIE コーナー設置と活動啓発

職員室前廊下に机を置き、特色ある新聞記事をボードに掲示するとともに新聞閲覧（英字新聞、小学生新聞を含む）できるコーナーを設置した。生徒は毎日登下校時に職員室前を通るため、目につく場所である。話題となった平昌（ピョンチャン）オリンピック、パラリンピックの記事や特色づくりを進めてきたライフデザイン・エリア（調理師免許取得等を目指す）と関連した食に関する記事（食の安全、郷土の食材等）、身近に活躍する高校生等の記事等を掲示し、社会への関心や自己肯定感の向上、目的意識の啓発に努めた。



② 新聞を活用した授業づくりと公開授業の実施（11月）

【国語】記事を選び内容をまとめ、記事に対する考えを述べ、コメントをもらった。

新聞の俳句、短歌、川柳を参考に俳句、短歌、川柳づくりを行った。

【理科】科学的なニュースをタイミングや内容を見極めて、授業で取り上げた。

例) 土星探索カッシーニ、もやしの価格、体内時計、ノーベル賞

【地公】記事をまとめ、自分の言葉、価値観等を入れ伝える授業を行った。

授業内容と関連する記事を取り上げた。例) 衆議院議員選挙、臓器移植

【書道】新聞からいろんな書体を探し出して書いた。

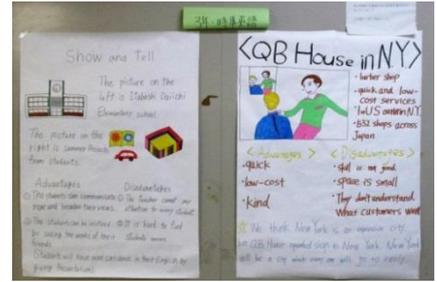
【家庭】食に関する記事の教材化や、食に関する記事を基にした小論文に挑戦した。

授業内容と関連する記事を取り上げた。

【英語】「時事英語」で英字新聞を読み、選んだ記事のポスタープレゼンテーションを行った。

例)「日本企業(千円カット店)の米国進出」
「小学生が新学期に休み中にあったことを show and tell でクラスに報告」の記事

例) 兵庫県ご当地どんぶり



※難しそうに見える英字新聞も辞書を使い丁寧に読めば意外と読めることに気づき、英語は情報を得る手段であることを理解するねらいで取り組んだ。

③ NIE 記者派遣事業の活用(平成 29 年 11 月 24 日実施)

神戸新聞社報道部 小林伸哉記者に「豪雨などの災害報道から～命と人権を考える」をテーマに、授業を行っていただいた。「数十年に一度ではあったが、佐用町の水害で家族が亡くなり、悔しい思いをした。二度と尊い命が失われてはならない。事件や事故の報道をこのような思いをもって行っている」という記者の使命についての話に生徒はしっかりと反応していた。

「守ってほしい」と訴えた。スマートフォンなどで危険箇所や避難所を調べられる兵庫県CGハザードマップも紹介。2年生の生徒会長(ラニス・イビス・カバリアさん)は「新聞には身を守る方法や役立つ情報があると分かった」と話していた。

水害などの災害に備えようと、湊川高校(長田区寺池町1)の生徒約130人が24日夜、教育に新聞を活用するNIEの授業で、防災情報を事前に収集して身を守る方法を学んだ。写真は、同校は2017、18年度のNIE研究指定校。神戸新聞報道部で防災報道を担当する小林伸哉記者(36)が、09年の県西・北部豪雨の取材経験などを語り、「新聞は災害の危険性や安全な避難方法などの教訓を伝えている。読んで命を



(11月26日付 神戸新聞)

(2) 授業実践例(公民科 現代社会)

【現代社会 学習指導案】 授業者 教諭 大崎 みずほ

① 日時・場所等 平成 29 年 11 月 20 日(月) 4 時間目 1 年 1 組教室(15 人)

② 使用教材 各自が選んだ新聞記事

③ 単元の指導計画

第 1 時 世の中の出来事に敏感になる①(新聞の見方を知る)

第 2 時 世の中の出来事に敏感になる②(新聞記事をまとめる)

第 3 時 世の中の出来事に敏感になる③(まとめたものを発表) ←本時

④ 単元の目標

ア 新聞について、大事なポイント、決まり事を理解する。

イ 興味ある新聞記事を見つけ、自分なりにまとめ、考えをもつことができる。

ウ 各自がまとめた記事を紹介し、考えを伝えることができる。

→思考力・判断力・表現力をはぐくむ

エ 物事を批判的に見る目を養う。

オ 本時の目標

- ・新聞記事をクラス全員に紹介し、要旨・自分の意見を発表する。
- ・クラスの生徒の発表を聞き、新聞記事にどのような役割があるのか、理解し、話し合うことができる。

→ **【思考力・判断力・表現力をはぐくむ言語活動の充実】**

⑤ 本時の評価規準と評価計画

関心・意欲・ 態度	①プリントの空欄を埋め、他人の発表を聴く姿勢ができているか。 ②自らまとめた記事を丁寧に紹介しようとしているか。 【言語活動】
思考・判断・ 表現	興味がある記事をまとめ、それに対し自分の意見を持つことができているか。 【前回までのプリント記入】
資料活用の 技能	①興味ある記事を選び、まとめることができるか。 【プリント記入】 ②配付プリントの適当な箇所を読み、理解しようとしているか。
知識・理解	今回の学習を踏まえ、新聞の役割について理解する。 【まとめ、グループ討議】

⑥ 授業展開

	指導内容	学習活動	評価
導入 3分	発表の準備。 ●発表手順の説明	自分のプリントを見て、確認する。	
展開 40分	プリントを配布し、新聞記事を見ながら（ ）に入る語句を考えさせる。 新聞記事を一人ずつ紹介させる。 ●記事の日付順に発表させる。	①プリント（ ）の答えを書いてみる。 ②担当生徒が黒板にプリント（ ）の答えを書く。聴いている生徒も答え合わせをし、プリントに記入する。 ③自分が選び、まとめた新聞記事を紹介。最後に自分の意見を伝える。 ④聴いている生徒は新聞記事を見ながら理解しようと努める。（人の発表を聴き、批判的に捉えているか）	資料活 用の技 能 ②～④ 関心・意 欲・態度 ③表現 も評価
まと め 2分	まとめをさせる ●新聞の役割は？他の生徒の発表の感想は？	①プリントに本日の感想を記入。 ②近くの生徒と意見を交換する。 ③指名された数名が発表する。	知識・理 解
		「世の中の出来事に敏感になること」や「自分の考えを持ち、物事を批判的に見る目をもつこと」の大切さ、新聞の役割等を確認。	

【授業者の振り返り】

大崎教諭は1年生の「現代社会」3クラス、2年生の「地理A」2クラスでも同

様の新聞を使った授業を行い、以下のとおりまとめている。

- ・もともと新聞を購読していない生徒が多く、どこに何が書いてあるか分からず、「文字が多すぎて見る気が失せる」「文字のほとんどが読み仮名がついていない(＝読めない)」「情報量が多く、自分が求めている情報を探すのに苦労する」と感じている者がほとんどであった。しかし、自分で新聞記事を選び、まとめる作業については、「意外と勉強になった」「自分が好きな記事だったので調べるのはとても楽しかった」との感想があり、新聞に興味をもったようである。
- ・まとめたものを発表したことについては、多くの生徒が自分の意見を授業で言うことに慣れておらず、「恥ずかしかった」「めっちゃ緊張した」「ものすごく嫌だった」けれど、「達成感があった」「案外面白かった」「他の人の発表を聞いて勉強になった」「あまりニュースは見ないけど、この授業でたくさんの出来事がわかった」と答えている。次回こそはと期する生徒が多く、「誰が聞いてもおもしろいと思えるような記事を見つけてまとめたい」「もっとまとめて、聞きやすい発表をしたい」と聞き手を意識する発言も見られた。また、「自分の言葉、感性、価値観を入れたい」「まとめたものをそのまま読むのではなく、自分の言葉で相手に伝えたい」など、よりよい発表をしたいという者が大半であった。
- ・発表を2回実施したクラスでは、7項目(声の大きさ、時間配分、発表態度、聴衆の関心、わかりやすさ、表現の工夫、全体の出来)を他人が評価する「評価シート」も利用したが、例えば「声の大きさ」が低評価だった者は、2回目は高評価となった。他人から発表を評価されることの意義については、「自分のだめなところ、良いところを客観的に見れて改善できる」「人の発表をよく聞くことで人を見る力をつける」などと感じている。
- ・思考力・判断力・表現力をはぐくむ「単元の目標」は概ね達成できたと感じる。次回は、同じニュースであっても論調が異なる新聞を利用し、違いやその背景なども考察できると良い。また、他人を意識した発表を数多く行い、社会で必要な力(コミュニケーション力など)を育成したい。

3 おわりに

「NIE活動を魅力ある授業づくりに生かす」とのテーマのもと、1年間、学校全体で研究に取り組んできたが、それぞれの教科に特性があるため、その取り組み状況には違いが見られる。例示した「現代社会」の授業と同様に、身近な記事をもとにグループで話し合い、代表者が発表する取り組みを行った国語科教員もいたが、次の新聞記事への関心を持つ生徒が増えるなど、学習に対する意欲が高まったと振り返っている。

今後も、様々な教科における魅力ある授業づくりに、NIE活動を一層役立てたい。